

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年07月14日

計画の名称	地域の特性を活かした交流都市、つしま												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	津島市												
計画の目標	大目標：歴史・文化が息づく魅力あるまちづくり 目標1：歴史・文化資源等の活用による活力・にぎわいの創出 目標2：歴史・文化が調和した都市景観の維持・創出 目標3：民間との協働による歴史・文化の保護・継承												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	628	A	618	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.59	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初		H31末
1	年間観光客数を1,442,721人から1,650,000人へ増加。 年間観光客数 藤まつり、天王祭、秋まつり、津島神社、観光交流センターの観光客数を合計した数	1442721人/年	人/年	1650000人/年
2	歴史的・文化的景観に関する満足度を47%から57%へ増加。 歴史的・文化的景観に関する満足度 歴史的・文化的景観に関する来訪者へのアンケート調査に基づく満足度	47%	%	57%
3	市民活動団体数を3団体から6団体へ増加。 市民活動団体数 本地区で活動する津島市公益活動団体バンクの「まちづくり・安全」の分野に登録されている市民活動団体数	3団体	団体	6団体

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
提案事業を加味した効果促進事業の割合 A:618百万円(うち提案事業分89百万円) B:0百万円 C:10百万円 効果促進事業の割合:(89百万円+10百万円)/628百万円:15.76%												

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	津島市	直接	津島市	-	-	津島市まちなか歴史・文化地区都市再生整備計画事業(1-A-1)	177ha 高質空間形成施設等	津島市						618		-	
												小計						618		
											合計						618			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者等で構成する「津島市まちなか歴史・文化地区都市再生整備計画事業評価委員会」において、基幹事業である都市再生整備計画事業をはじめとした交付対象事業についての評価を実施	
令和元年11月21日～12月20日（都市再生整備計画の事後評価原案として公表）	
公表の方法	
市ホームページへの掲載並びに担当部署及び支所における閲覧	
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【歴史・文化資源等の活用による活力・にぎわいの創出（年間観光客数）】 目標値をわずかに下回ったものの、案内板整備事業、道路美化化・小路整備事業、ポケットパーク整備事業等により、祭時のみならず平時の回遊性等が向上したことで、年間観光客数が増加してきている。</p> <p>【歴史・文化が調和した都市景観の維持・創出（歴史的・文化的景観に関する満足度）】 市が歴史的な町並みに調和した案内板整備や道路美化化・小路整備を進めるとともに市民・市民活動団体が町家・山車蔵修景や空き家・空き店舗利活用を進めることで、町並みが整いつつある。また、歴史文化資源への関心・理解が深まり、目標値を上回る結果となった。</p> <p>【民間との協働による歴史・文化の保護・継承（市民活動団体数）】 まちづくり活動・観光振興費助成事業等により市民によるまちづくり活動が活発になるとともに、歴史的・文化的なまちづくりに関心を持つ市民が増加し、団体数が大幅に増加した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>交付対象事業の目標達成への効果発現状況について、上記定量的指標を補足・補完するその他指標を設定して整理した。</p> <p>その他の数値指標 1：本市における主要な観光施設・祭の年間観光客数（指標 を補足する指標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義：本市における主要な観光施設や祭りである藤まつり、秋まつり、津島神社、観光交流センターの平成31年の年間観光客数の実績値を算出する。 ・設定理由：H30及びH31に天候の影響を受けた「天王まつり」を除いた観光施設・祭の観光客数の推移をみることで、指標1を補足して、歴史・文化資源等の活用による活力・にぎわい創出の効果を表すことが適当であると判断したため。 ・効果発現状況：従前値（H26）：1,202,721（人/年） 最終実績値（H31）：1,383,928人/年
特記事項（今後の方針等）	
<p>【目標達成状況】 まちづくり活動・観光振興費助成事業等により、様々な市民活動団体の活動が活発になり、観光ニーズをとらえた地域特性を活かした催し等が開催され、集客力の高い観光振興に取り組むようになった。地域資源の維持保全を目的とする市民活動団体も発足し、歴史的・文化的資源を活用した取組みが実施されるようになった。これらの団体の中には、地域特有の伝統文化や行事を保護・継承していこうと取組んでいる団体もある。</p> <p>道路美化化・小路整備事業により、観光資源周辺の道路整備が進んだことや、案内板整備事業も進んだことにより、観光客の受け入れ態勢が整いつつある。</p> <p>町家・山車蔵等修景・復元費助成事業や空き家・空き店舗利活用費助成事業等により、建築物の修景や古民家の利活用が進み、歴史やにぎわいを醸し出す景観が整備されつつあるが、本市のシンボルの景観である本町筋については、引き続き景観保全を推進していく必要がある。</p> <p>道路や案内板が美化化により歴史的な町並みに調和しつつある。</p> <p>【残された課題や新たな課題】 津島駅や観光スポットへの重要なアクセス道路の歩道未整備区間を整備することにより、地域住民や観光客等の安心・安全な道路交通の確保及びアクセス利便性を向上させる必要がある。</p> <p>重要な観光資源である天王川公園内の藤棚の老朽化が著しいので、早急に改修を進める必要がある。</p> <p>文化財等の保存・継承に必要な調査や計画策定を行う必要がある。</p> <p>尾張津島秋まつりで山車と並んで重要な石探祭車の収蔵庫を修景し、歴史やにぎわいを醸し出す景観を創出する必要がある。道路付属物である道路照明の美化化も進め、さらに良好な都市景観を創出する必要がある。</p> <p>少子高齢化や人口減少等により、伝統文化活動に取組む人の高齢化や後継者不足が進んでいるので、後継者を育成する必要がある。</p> <p>観光客の増加に伴って自動車の往来が増えたこともあり、津島神社や天王川公園等への重要なアクセス道路である市道橋詰見越線や天王通りについて、地域住民や来訪者の安心・安全な通行確保のための歩行者優先の再整備が必要である。</p> <p>【今後の方針】 市民活動団体は、まちづくり活動・観光振興費助成事業等で取得したノウハウにより、自ら資金を調達して活動を継続・拡大していく。行政は窓口相談やPR活動、祭・文化活動への助成により、市民活動を支援していく。</p> <p>道路美化化・小路整備や案内板整備をさらに進めて回遊性や利便性を高め、観光資源をつなぐネットワークの向上を図る。</p> <p>歴史的建造物を保存・活用することで、良好な町並みを維持するだけでなく、市内外の人々にその価値と魅力を広める。津島の歴史文化の学びの機会を提供して愛着・誇りを感じてもらい、町並みの維持向上に繋げていく。特に、本町筋を中心とした面的な景観保全を推進する。</p> <p>歴史的・文化的資源周辺の道路の美化化を進める。観光案内板の美化化と同様に歴史文化遺産案内板の美化化を行う。</p> <p>地域住民や観光客等の安心・安全な道路交通の確保及びアクセス利便性を向上させるため、津島駅や観光スポットの重要なアクセス道路の歩道整備を進める。</p> <p>観光客が尾張津島秋まつりを安心・安全に楽しむとともに、藤まつりの風物詩になっている藤棚下の野点による茶の提供が継続され、津島の茶の湯文化が維持及び向上するように、藤棚の改修を進める。</p> <p>秋まつりに関する総合調査を実施し、秋まつりにおける祭礼の過去・現在を保存するとともに保護意識の醸成を図り、秋まつりの保存・継承を進める。</p> <p>尾張津島秋まつりで山車と並んで重要な石探祭車の収蔵庫を修景し、歴史やにぎわいを醸し出す景観をさらに創出する。道路付属物である道路照明の美化化も進め、さらに良好な都市景観を創出する。</p> <p>市内の小学生高学年の児童を中心に郷土の歴史や文化を学習するためのフィールドワークや天王祭の見学等を実施し、後継者の育成に繋げていく。祭・文化活動への助成により、後継者の育成に繋げていく。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標 年間観光客数の増加		
	最終目標値	1650000人 / 年	案内板整備や道路美装化・小路整備、ポケットパーク整備等のハード事業と町家・山車蔵等修景・復元費助成事業やまちづくり活動・観光振興費助成事業等のソフト事業を連携して実施し、まちの回遊性が向上し、祭時及び平時の地域資源の活用が進み、年間観光客数の増加につながったものと考え。しかし、天王祭が雨天中止となるなど不測の事態もあり、目標をわずかに下回る結果となった。
	最終実績値	1643928人 / 年	
指標 歴史的・文化的景観に関する満足度の増加			
2	最終目標値	57%	市が歴史的な町並みに調和した案内板整備や道路美装化・小路整備を進めるとともに市民・市民活動団体が町家・山車蔵修景や空き家・空き店舗利活用を進めることで、町並みが整いつつある。また、イベントなどの様々なソフト施策の実施等により、歴史文化資源への関心・理解が深まってきたことも相まって、満足度が大幅に上昇したと考える。なお、満足度は、計画策定当初と事後評価時では調査対象者が同一ではないため、そのことも目標値と実績値に差異が生じたことの一要因になっていると考える。
	最終実績値	67%	
	指標 市民活動団体数の増加		
3	最終目標値	6団体	まちづくり活動・観光振興費助成事業により市民活動を支援したことで、市民によるまちづくり活動が活発になった。また、市が様々な歴史文化を活かした取組みを進めたことで、歴史的・文化的なまちづくりに関心を持つ市民が増加したことにより、登録団体数が増加したと考える。なお、実績値が目標値を大きく上回っているが、指標の定義（対象となる団体の活動分野）が当初計画から変更となり、幅広い団体が対象となったことが要因の一つとなっている。
	最終実績値	28団体	